

未来の天命（使徒 1：8）

序論

▶祈りの答えを簡単に受けた方には特徴があります。一生の天命を受けた人達は、簡単に祈りの答えを受けていました。使徒 1：3 の祝福は毎日味わうようにしていかなければなりません。簡単に言えば、今日の天命です。今日、最後に用意していくことがあります。使徒 1：8、未来に関する天命です。そこで使徒 1：1、3、8 はすべてのものを圧縮した重要な聖書の一節です。旧約聖書のすべての完成であり、また、新たな出発でもあります。

▶これから皆さんがこの内容を行う前に、いくつかのことを今日から行ってください。

1) 深い時間（一人の時間・空間）

▶皆さんが個人的に深い幸せな時間を持っていただきたいと思います。この深い時間こそがすべてを左右するからです。皆さんは、使徒 1：1、3、8 を持っているために、今からこの深い時間を持っていかなければなりません。私たちの教会に統一教会に長くいた方がいらっしゃいました。統一教会の幹部でいらっしゃいました。それが 30 年前の話です。その方に尋ねてみました。私は文鮮明氏の良くない部分についてよく知っていますとお話ししました。キリストを知らないの、おそらく異端でしょうと言いました。しかし、良い点を話してみたいと言いました。私はそれらの人々の良い点をまったく分からない、良いところを話してくださいと言いました。その中で私がとても驚いたいくつかのことがあります。それは、私が確認したことと同じでした。午前 2 時に起床して 6 時まで、常に祈るということです。そのとき私自身が思ったのは、異端よりかははるかに多くの祈りをしなければと思いました。

▶もし皆さんのお子さんが大物になれると思うのであれば、一人の時間を多く与えてください。レムナントとして見たときに、これから大きくなれると思うのであれば、一人でいる時間をたくさん与えてください。一人で時間を使えるような空間も提供しなければなりません。参考にさせていただきたいと思います。皆さんの教会には、これから大物がたくさん出てくると思います。私が思うに、今韓国で一番大変な問題の中にある教会は、ヨイド純福音教会だと思います。いろいろと大きな問題にぶつかりましたが、チョウ・ヨンギ牧師先生はやはり大きな人物だと思います。長老やご家族の方々が、この深い時間を提供することができませんでした。その方をとても忙しくさせたのです。あちこちから招待させたりして、霊的なことを失ってしまうしかないような方向にさせてしまいました。ですから、こういう時間を持つようにさせるということを理解していかなければなりません。この時間は、朝にしても夜にしても関係がありません。

(1) メッセージ

▶皆さんが必ずメッセージを聞くことです。聞かなければなりません。牧師先生たちも聞くべきです。必要に応じては、他の牧師先生のメッセージをわざとでも聞く必要があります。聞くときには気をつけなければならない部分があります。実は、いろいろな先生方のメッセージを聞きますと、学ぶことが多いです。でも、気をつけなければならないのは、いくつかを聞くだけで済ましてしまいますと福音を逃してしまいます。おそらく皆さんが、レムナントが、そういうやり方でメッセージを聞きますと、福音がなくなってしまう。メッセージを長くずっと聞いて行くということはとても重要な時間です。

(2) 祈りの手帳

▶祈りの手帳を見ながら聖書箇所も調べて読んでください。

(3) 読書

▶そして、この時間に短くても読書をしていただきたいと思います。

(4) 運動

▶短くても運動をしていただきたいと思います。この時間を必ず持つてください。

(5) 集中時間

▶そして、皆さんの身体、たましいを生かせる集中時間を持つことです。必ず持たなければなりません。これらを指して定刻祈りと言います。

▶成り立つ祈り、24 時

こういう時間を持つことによって、答え中の答えが現れます。それが何かといますと、成り立つ祈りです。これを指して 24 時と言います。今日、終わってお帰りになられると思いますが、一人でいる時の一人の深い時間を持ってください。牧師先生がどうのこうの、教会の環境などの言い訳を捨てて、福音をすでに持っていますから、この時間を持ってください。

▶25 時、永遠

そうしますと、ある日、皆さんに 25 時と永遠の答えが現れます。必ずこの中に入ってください。

2) 器の準備

▶器の準備をすることです。小さな器ですと、たくさんものを盛ることはできません。深い祈り続けながら器を大きくしていくことです。第 3 次産業、第 4 次産業というのは、3 団体が掌握しました。正確に言えば、いまされているお仕事というのが、今後未来、3 団体の下で働くしかない状態になっていくのです。いますでにそういう状態が進んでいます、後には完全にそうなると思います。それは話にならないと思いませんか。これを見て、私たちの身分です。身分をすぐに回復しなければなりません。

3) 権威 – マルコ 3 : 15、ルカ 10 : 19、使徒 8 : 4-8、使徒 13 : 1-12、使徒 16 : 16-18、使徒 19 : 8-20

▶そして、神様は私たちにもすごい権威を預けてくださいました。マルコ 3 : 15、私があなたがたを召したのは「悪霊を追い出す権威を持たせるためであった」と言っています。ルカ 10 : 19 に、へびやサソリを踏みつけるそのような力を私たちに与えられました。使徒 8 : 4-8 を見ると、重職者の方々が行く所々で暗やみの勢力が完全に打ち砕かれます。ということは、この中に素晴らしいことがすべて入っているということです。使徒 13 : 1-12 を見ると、すべてのシャーマニズム、すべての偶像文化を倒す働きが入っています。使徒 16 : 16-18、皆さんに、悪霊、サタンを追い出す力が与えられています。すごい力です。

▶**本論** - この中でずっと続けて出て来なければならない 3 つのことがあります。そして、この中で重要な天命を受けなければなりません。皆さんがこの深い時間をずっと持つことによって出てくると思いません。神様が残した最も重要なこと 3 つがあります。

1) 次世代と RUTC

▶それは何でしょうか。一つ目です。次世代と RUTC です。これが皆さんの未来に向けられた非常に重要な使命です。この深い時間（序論）の中から続けて出て来なければなりません。深い時間において、RUTC をおいてずっと祈ることです。「私はこれからたくさんお金を儲けた後に RUTC をやろう」という方で答えられた人は誰一人いません。小さなことを実際に計画しながら祈っていかなければなりません。たった一千元でも口座を作り、RUTC のために祈りながら貯金していくことです。その深い時間の中から続けて出てくるものでなければなりません。

2) 次世代と RTS

▶そして、ここから出てくる私たちの次世代と RTS です。神学生、牧会者をどのように育てるのがすべてです。

3) 次世代と RU

▶そして、3 番目です。この深い祈りの中で続けて出てくる答えです。私たちの次世代と RU です。この 3 つは未来に向けられた天命を受けなければならない重要な使命です。

1.次世代と RUTC

1) 使徒 1 : 1、3、8

▶私たちの次世代は、使徒 1 : 1、3、8 の答えを受けなければなりません。時代は変わります。そこで生き残るためにはどこでもキリストを見るようにしなければなりません。なぜあれだけ発展したアメリカに霊的問題が多いのでしょうか。キリストがないからです。なぜ日本はこんなに発展しているのに、霊的問題を抱えている人が多いのでしょうか。キリストがないからです。勉強をたくさんされている方にも、どうして霊的問題が多いのでしょうか。それは来るしかありません。キリストがないからです。また、経済的に豊かな方々の中にも霊的問題がとても多いのですが、そこにはキリストがないからです。その契約を握るとき、神の国が臨まれます。そして、何ですか。証人となることです。これが、ただ、唯一、再創造です。

2) 第 1、第 2、第 3 RUTC 運動

▶では、第 1 RUTC 運動は何でしょうか。このすべての内容を次世代に教えなさい。座っているときも、道を歩いているときも、そして、寝ているときもそれを教えなさい。それが第 1 RUTC 運動です。次は何でしょうか。ミツパに集まりなさい。ドタンの町に集まりなさい。これがすべて第 1 RUTC 運動です。

▶そして、第 2 RUTC 運動とは何でしょうか。会堂、講堂、町。これが第 2 RUTC 運動です。

▶では、第 3 RUTC 運動は何でしょうか。それはこれから第 3 次、第 4 次産業の後に起こる霊的問題を打ち止めなさいということです。日本の地にこの RUTC が出て来なければなりません。次世代が育てられるような RUTC が必要です。これだけではありません。

3) 霊的な戦争、良い戦争、生かす戦争

▶パウロはテモテに話しました。あなたは兵士である。私たちの次世代が霊的戦いをする事ができる現場が必要です。私たちの次世代が良い戦いをする事ができる現場が必要です。私たちの次世代が生かす戦争ができる、生かす戦いをする事ができる現場が必要です。皆さんがこれを天命として握って、私がやれることは何かということをもって深い祈りの中に入ってください。聖書の中で一番重要な部分でもあります。私はこれから皆さんと一緒に活動できる限り集中したい部分が、こちらの RUTC 運動です。なぜなら、すべてを未信者達が掌握しているのですが、私たちの身分と権威は十分にできる者であるからです。

2.次世代と RTS

▶では、皆さん見てください。RTS とは何でしょうか。聖書をよくご覧ください。

1) レビ人の男、レビの女

▶今でもこのような流れはあります。レビ人の男がレビの女と結婚したということです。いまレビ族というものはなくなりました。みなが祭司長です。しかし、この契約の流れは残っています。それがまさにこの日本の地で、次の世代の牧会者をどう作り上げるかが鍵です。皆さんが祈っていかねばなりません。もともとは、私は、このようなことを祈っていました。神学校は、全教会が参加して祈りで後援していかねばならない。そして、神学生もあまりたくさん選んではならない。神学生からはすべての授業料も受けとらないとか、もともとはそうしていかねばならないと思いました。いま韓国や全世界に神学校がたくさんあります。でも、頭の中にあるのは一つしかありません。運営費です。お金が必要です。だから、たくさん募集しなければなりません。それが今日の神学校です。たくさん募集しなければなりません。それがお金になるからです。お金を稼ぐのは悪いことではありません。運営のためには必要なものです。良い教授も多く確保しなければなりません。だから、自分が教授になるためにいろいろなことで頭を回していくわけです。皆さんは知らないかもしれませんが、神学校の総長になるために血を流す努力をしています。戦いです。それが今日の神学校です。間違いなくその状態です。何%なのでしょう。99.9%がそうだと思います。正しく祈っていかねばなりません。これから皆さんが本当に祈り、正しい牧会者を作り上げていきましょう。

2) オバデヤ

▶オバデヤのような長老が出なければなりません。祈ってください。預言者がみな打ち殺されていたときに、100人の預言者たちをかくまっていたオバデヤです。

3) バビロンの時代

▶バビロンの時代に最も大きなことはどんなことだったでしょうか。そこには10人ほどの預言者達いました。これらの人々のためにすべて回復されていきました。

4) ペテロ、パウロ

▶私たちがこれからペテロやパウロのようなものを作り上げていかねばなりません。この契約を握って深い祈りの中に入ることです。深い祈りの中ですべてを得た私たちは、2のことをおいてずっと祈っていただきたいと思います。

3.次世代と RU

▶アメリカにRUを立てました。おそらく今後、日本にも立てなければならぬと思っています。

1) 237カ国

▶どうしてでしょうか。237カ国を生かす準備をしていかねばなりません。これがRUです。アメリカのRUは、これから驚くほどの御働きが起きると思っています。

2) 237カ国レムナント

▶237カ国のレムナントも起こされてくると思います。どうしてアメリカでしょうか。世界で最も発展した国であって、最も危険な国がアメリカであるからです。

3) 237カ国教役者

▶237カ国の教役者を訓練させなければなりません。神学もやっていないところがたくさんあります。神学を学んだとしても伝道訓練がされていません。私が思うに、アメリカも日本も多くの神学校があっても伝道訓練はさせていません。これをさせなければいけません。

▶皆さんは、神様が一番望んでいることを握っていかねばなりません。たとえ私ができないとしても、正しいことを握っていかねばなりません。そうですよね。私は能力がない。そうだとすると、神の正しい契約を握らなければなりません。この3つです。この3つに対して、皆さんは天命を受けな

ければなりません。これからすべての現場においての RUTC をどうやっていくのか。あちこちにある会堂を止めていかなければなりません。3つの団体から生まれてきた霊的問題を止めていかなければなりません。どのように止めることができますか。簡単に止めることができます。権威が与えられました。ヘビとサソリを踏みつける力がすでに与えられたということです。すべての偶像や占術、占いの文化をパウロは行って数日間で打ち壊して行きました。このような RUTC が必要です。

▶アメリカの国会議員にこう尋ねてみました。青少年たちが遊ぶ場所がありますか。ありませんと答えられました。当然に麻薬をやっています。やることはありませんから。国家や教会は重要なことをすべて逃している状態です。私はおかしいなということ一度体験したことがあります。明日集会があるから、その前日の夕方に出ていました。女子学生2人が私に近づいてきました。お願いが一つあると言われました。何かと尋ねました。「ビデオを見る店がありますが、そこに入るためには保護者が必要です」と言いました。つまり、私がお父さん役をして保護者のふりをすれば入ることができると言われたのです。そして、私は本当にお父さん役をしながら入って行って、「何を見る？」という演技もしました。しかも彼女たちが全部それを見終わるまで側にいてあげました。本当におかしい不思議なことがありました。そういう子たちの文化を探ってみるわけです。普通、映画を見るとしたら明かりを消して、その映画だけを見ますが、2人とも携帯を使いながら映画を見ているのです。指がまるで飛んでいるかのようです。目は前を向いて映画を見ているのですが、手はずっと動いていました。ああ、これがいまの子どもたちの文化なのかなと思いました。終わった後は、あっさりありがとうございますと言って、さっさと帰りました。それを見たときに、やはり子どもたちが集まれるところがないのだなと思いました。実際に、ああだ、こうだといろいろな文化がありますが、子どもたち自体がやれる文化がありません。もちろん両親の前では嘘をつくと思います。実際に、私たちの子どもたちが何か夢を見てビジョンを持てるような空間が一つもありません。そのような RUTC が日本全国に数十箇所生まれるならば、日本文化も変えることができますと思います。しかし、これをフリーメーソンが先に気づきました。所々に、会堂、ロッジを作ったわけです。私たちが祈っていないから、答えられていません。

▶イスラム圏のモスLEMの人達が韓国にはたくさん来ています。月に給料70万ウォンぐらいをもうけているそうです。小さな仕事で70万ウォンぐらい貰います。もちろんその報告は、何年か前の報告ですが、その70万ウォンの中でいくらかは自分の国に送ります。残った分で自分たちの生活をします。自分たちで集まってソウルだけでもイスラム教の人達が祈れる祈りの場所を百箇所以上作りました。私たちは、祈っていません。実際的な祈りが必要です。RUTC です。これから本当に RTS 神学校正しくやっっていかなければなりません。ここで本当に伝道できる牧師、伝道することができる神学者を作っっていかなければなりません。本当に祈りの力持っている牧会者を作っっていかなければなりません。それができますと、もっと重要なのが3番の部分です。神が見るときに、だれがこちらの3番を行うことができるのだろうか。その方が主役です。

結論 - 永遠

▶それで、このような重要な結論が出てきます。

1) 人、産業、教会

▶この3つを成し遂げることのできる人。この3つを成し遂げることのできる産業。この3つのことをやれる教会。これが主役です。これが時代の主役です。私は韓国で間違いなくやります。具体的に一つずつ、来年から準備していこうと思っています。皆さんも祈ってください。神の力、25時の力が与えられるならば、人間の力を越えていく力となります。そして、私たちがやっているこの3つの働きは、永遠に残るものです。皆さんの家は、永遠に残りません。そうですよね。誰かが別の人がそこに来て住むはずで。皆さんの土地、誰かのものになっていきます。皆さんのものにはなれません。永遠にはなれません。皆さんの職業も、これからは変わっっていかなければなりません。これから第4次、第5次産業が起きますと、それこそ聖書にあるとおり、霊的問題の時代が来ます。そのためには永遠に残るものを祈っっていかなければなりません。

▶では、これからどうなっていくのでしょうか。私は高校に伝道しに行きました。高校伝道に行っってみて中学、高校は伝道するのが難しいなということを感じました。できないことを無理やりにやる必要はないと思いました。学生たちに会って一人でも変えさせなければならぬと思うのですが、学校内ではそれが無理だと思いました。そこで見つけたことがあります。学生たちと深い話ができる場所を見つけたのです。それがパン屋さんでした。韓国はそういう文化でした。そこで子どもたちに会いました。そこで子どもたちに会って相談して教えたら弟子が生まれてきたのです。驚くべきことに、学校ごとに1、2人は弟子がいるということです。その弟子たちを通して福音の手紙を書きました。その当時は、今の

ような福音の手紙ではなく、子どもに直接、答えを与えられるような一枚の福音の手紙でした。それを回したのです。韓国全体には行きませんが、釜山全域に青少年運動が起きました。釜山で伝道の風が起こっている止められましたが、とにかく現場ではいろいろあります。

2) ただ、唯一性、再創造

▶皆さんが一つの現場に行ったとき、3つのことを見つけてください。それは、ただ、唯一性、再創造です。いま私がお話しした部分が3つの話を含めた話です。私だけができるただのもの。すると、学生の中に弟子が生まれてきました。唯一性です。学校全体にみことば運動が起きました。再創造です。皆さんこれをただ聞くことなく、皆さんの事業で、産業で見つけていかなければなりません。これを見つけることはまったく難しいことではありません。もう一つの例を挙げてみます。ダビデは羊飼いをしながら一匹の羊をも失わないと思いつつ祈ってやっていた。本当に、現実的にそうになりました。それがただです。ところで、ゴリアテに会ったのです。唯一性です。そして、王となりました。誰もできない神殿を準備したのです。再創造の働きです。

▶今日からすべてのレムナントに皆さんは、深い時間をもうけてください。なぜなら皆さんは、大きな、大きな者になるからです。そして、集中訓練を受けたすべての弟子の皆さんも、深い時間をもうけてください。すべての牧師の先生方もこちらをやってください。私はチョン先生を見ながら副教役者の方々にお話をしあげようかなと思いました。あちらのチョン先生の教会には、信徒が1万人を超えます。すごく賢い信徒さんであるならば、牧師先生に一人でいられる空間を提供すべきだと思います。そうすれば残り時間、病気にかからず衰えずにずっと牧会ができると思います。私を知っている釜山大学の総長を務めていたある長老なのですが、その方の奥さんが私にこう話してくれました。それを何度も私に話してくださったのです。結婚をしました。結婚をしたならばいろいろなところに行ったり、旅行にも出かけると思います。でも、結婚した初日から30年一緒に生活しましたが、いつも午前3時に起きるということでした。そして、一人で書齋に入るそうです。それを勸士さんが一日も欠かさず30年間見たということでした。それを私が伝道師の頃に聞いたのですが驚きました。やはりあの方には何か力があつたと思いました。レムナントの中で大きな人物になれるという子がいたら、このような時間を提供すべきです。そして、皆さんが小さな伝道運動をする方だとしても、この深い時間を持つことによって、いま結論でいう3番目の内容が与えられます。

3) 答え、場所、仕事

(1) 誰も与えることのできない答え

▶それは誰も与えることのできない答えを持つようになります。聖書全体の話です。

(2) 誰も行くことのできないところ

▶誰も行くことのできないところです。

(3) 誰もできないこと

▶誰もできない仕事。誰も止められないこと。こちらの方向に導いてくださると思います。

▶ですから皆さんは、使徒1:1、3、8を持って深い時間(序論)のことを味わうようにしていかなければなりません。使徒1:1、3、8を持って、この深い時間の味を味わった人は、完全に別人になります。メッセージを続けて記録して成就する味を味わっていかなければなりません。すると、祈りの手帳というのは、すべての集会の年間メッセージを集めた書物です。ということは、その流れがどう成就されたかを読み切っていかなければなりません。読書をする理由も、世の中の流れをわざわざ行かなくても本で見るということです。でも、本当のことは、この集中時間のためにすべてをやっているのです。皆さんが一人で集中時間、これを持つことによって結論の答えの門を開いてくださるはずで、答えの門が開かれましたら、本論の1、2、3ができるようになります。

▶今回は生涯の天命。今日の天命、未来の天命でした。これを見る目がなければなりません。ここは日本です。私が見るに、世界福音化ができるために一番良い条件がそろった国です。おそらく神様は、日本にいらっしゃる宣教師は、神様が最高の宣教師として集めてくださったと思います。今、日本で起きているレムナントの皆さんは、世界を動かせることができるレムナントだと思います。だからこそ深い時間に入ってください。サミットの時間に入ることです。これは疲労や疲れることではなく、とても幸せにやっています。そして、深い時間を通して一番力強くなるのです。そして、いやしの時間を持つのです。これでおしまいです。すると、毎日答えを確認することができるようになります。

▶時間もあまりありませんが、黒板も書ける場所がありません。私も話し尽くしました。問題は、これを逃してはいけません。使徒1:1、3、8を逃しては行けません。これを継続すれば御働きが起きます。日本をこれからより大きく生かしていく時刻表が来たと思います。一人も欠かさず神の恵みに預か

りますよう、主の御名でお祈りしたいと思います。神様に栄光の拍手を送りましょう。お祈りします。

(祈り)

感謝を神様にささげます。生涯の契約である生涯の天命を見ることができますように。未来の天命を見ることができますように。そして、今日の天命を見ることができるよう目を開いてください。今から病んでいる方がいやされ証人となりますように。無能な者たちも起きて神様の力によって証人となりますように。霊的問題がある方は、伝道者として変わりますように。すべての問題の解決者である主イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。アーメン。